

報道各位

2019年度入社式社長訓示（要約版）

住友金属鉱山株式会社

1. 当社は430年の歴史を持ちわが国の産業発展に大きな役割を果たし続けてきた。今日の当社は、先人たちが知識や技術を結集し困難を乗り越え、弛まぬ努力を続けた結果築きあげられたものだ。これから始まる研修の中で、住友の歴史と事業精神、当社事業の沿革についてよく学んでほしい。
2. 今年2月に発表した新中計のテーマは「世界の非鉄リーダーを目指して～新たな成長への挑戦～」である。当社はJCO 臨界事故後の20年間で、同業他社を上回るペースで成長してきた。しかし今、世界はかつてないスピードで変化しており、これまでと同じ事、同じやり方では、持続的な成長は実現できない。また、当社をとりまく経営環境も不透明かつ複雑化している。新中計は中長期的な視点で策定しており、時代の潮流を掴み、持続的な成長を実現すべく、かつてない規模の経営資源を投入する「攻め」の計画だ。これからの当社を担う皆さん世代に優良な資産を残すためにも、覚悟をもって挑戦する。
3. 当社社員としての心構えを3点。
 - 1) 「現場に学ぶ」

ものづくりの原点は現場にある。諸先輩から受け継いだ技術や技能、企業文化や風土・習慣は、現場でなければ感じ取れない。体験を通じて理解することでしか世界を知り得ない。現場に足を運び、五感で吸収したことが自身の拠り所となり、そこでチャレンジし、失敗含め経験を積むことで、将来の土台ができて上がる。
 - 2) 「目の前の課題に真摯に向き合う」

「一番困難な道が最短の道である」。会社生活では様々な課題に直面するが、試行錯誤しながら乗り越えなくてはならない。時には苦しくても、その経験は必ず成長の糧となる。目の前の課題に真摯に向き合い、自分自身を高めること。とはいえ個人の力で解決できる課題ばかりではないので、周囲にサポートを求めながら取り組んでもらいたい。多くの経験を持つ上司、先輩などは必ずや有益な示唆を与えてくれるし、職場の仲間も同じ目標を達成するためにいる。
 - 3) 「自ら行動する」

将来、事業運営を担う立場となる皆さんには、常に自ら考え、行動する意識と力を身に付けてほしい。学生生活とは対照的に、会社では課題を自ら見つけ、優先順位も自分でつけること。仕事の本質はここにある。自ら考え行動を起こす習慣を身に着けること。
4. 経営戦略の要諦は、絶え間ない経営環境の変化に対応することだ。周囲の変化を敏感に感じ、それが当社の経営や事業にどう影響するかを想像するように。これから当社が直面する課題は、これまで経験したことのない、複雑に入り組んだものだ。若い皆さんの柔軟でフレッシュな発想や行動力に大いに期待している。是非とも、自由闊達に意見をぶつけ合い、存分に力を発揮してほしい。
5. 最後に住友グループには「報恩感謝」という言葉がある。皆さんが今日入社の日を迎えられたのは、これまでご家族をはじめとする方々が支えてくれたおかげだ。今後も感謝の気持ちを忘れず、社会人として、一人の人間として大きく羽ばたき成長することを願っている。

以上

（ご参考）本年度総合職社員入社人数：事務系14名、技術系20名、計34名